戰歿者確認（證明）書

一、死歿者所屬部隊名（通稱）　歩第一〇三一五部隊

一、徴集年　昭十三年　徴集　千葉　兵種　歩兵

一、官等（死歿前）　上等兵　（死歿後）

一、氏名　[redacted]

一、死歿場所　ルソン島ラグナ州ラグナ湖

一、死亡區分並ニ事由　戰死　頭部貫通銃創

一、死歿年月日時間　昭和二十年八月一日　時

一、死後本籍地留守擔當者　[redacted]

右確認（證明）ス

昭和30年1月3日

元所屬部隊名　歩第一〇三一五部隊

現住所　[redacted]

元官等職　陸軍上等兵

氏名印　[redacted]

住、死亡年月、場所ハナルベクツツシク詳ニ終戰後ノ死亡ハ明細ニ生死不明ニナツタ者ハソノ前後ヲクワシク御知ラセ下サイ

宛先　[redacted]

厚生補課

1602

戰歿者確認(證明)書

一、死歿者所屬部隊名(通稱號) 歩兵一四四部隊
一、階級並年 陸軍二等兵 [redacted]
一、官等(死歿前) 陸軍 [redacted]
一、氏名 [redacted]
一、死歿場所 南部ルソン島[redacted]州[redacted]北方
一、死亡區分並ニ事由 [redacted]銃弾ニ依リ現地[redacted]銃創ニテ戦死ス
一、死歿年月日時間 昭和二十年[redacted]月[redacted]日[redacted]時
一、死歿者本籍地留守擔當者 [redacted]

右確認(證明)ス

昭和22年6月23日

元所屬部隊名 歩兵一四四部隊
現住所 [redacted]
元官等級 陸軍兵長
氏名印 [redacted]

註 死亡事由、場所ハナルベククワシク特ニ戦地ノ死亡ハ明細ニ生死不明ニセサル者ハソノ前後ヲクワシクオ知ラセ下サイ

宛先 [redacted]

死亡認證明書

昭和22年4月1日

死亡者						
所属部隊	南方一四陸病	死亡場所	北島ネグロス島ハブリカの後方山中			
本籍地	[redacted]	死亡年月日	昭和20年4月1日13時			
死亡前の階級	衛生曹長	死亡区分	戦死			
氏名	[redacted]	受傷箇所	頭部貫通銃創			
遺留品	月 日 なし	病名 発病年月日	昭和 年 月 日発病			

現認事由

昭20.4.1北島ネグロス島ハブリカ後方山中に於て米軍の攻撃に會し軽機関銃の為頭部貫通銃創を負い戦死す

証明者			
所属部隊	南方一四陸病		
本籍地	[redacted]	現住所	右全
階級及職	伍長 戦友	氏名	[redacted]

記載上の注意

一現認事由は死亡当時の情況を詳細に記入する

一階級は必ず死亡前のこと

一確度(甲は正確、乙は概ね正確、丙は疑はしいもの)は必ず記入する

一氏名の下に捺印を必ず[illegible]

一故人との関係は中隊長、分隊長、戦友等の別を記入する

61-11

1604

本籍地	[redacted]
所属部隊	固有名 第十三機関砲隊 兵種名 比島派遣 戦第五四〇六部隊 [redacted] 大動
役種・階級	役 昭和一九年三月徴集
官等・氏名	陸軍 二等兵 死亡時 死亡後 陸軍 兵長
生年月日	氏名 [redacted] 年 月 日生
留守担当者	現住所 続柄 [redacted] 氏名 [redacted]
死亡年月日	昭和二十年八月一日 時 分
死亡場所	ルソン島 コルドン町西方約六粁 [redacted] 山
死亡状況	発病 負傷 年月日 病名 若ハ負傷部位 マラリヤ 不明（再発）
現本籍 認者	旧所属部隊 第十三機関砲隊 [redacted] 交者ノ住所 [redacted] 官等・氏名 陸軍曹長 [redacted]

不明・簡所ハ不明ト記入セラレ度イ

（大阪・堺内局）

22-10

1605

現認事實

證明書

所屬部隊名 通称號 [illegible]九九二六部隊

固有名 [redacted]

本籍地

住所 〃

[redacted]

氏名 [illegible]

階級 兵種 [illegible]

階級 兵種 歩

階級 年月日 死亡前

年月日

階級 年月日 死亡後

年月日

氏名 [redacted]

年月日時刻 昭和二十年八月二日午前午後時頃

死亡場所 オリツピン山

分類 戦死 / 戦傷死 / 戦病死 / 其の他

死亡の原因又は病名

發病年月日及現認事由

死体の處置

其の他参考事項

食料不足ノ為ノ栄養不良ニテ死亡

同分隊ニ劇務

遺骨遺留品の有無及び無い場合の理由 ナシ

保管場所 ナシ

上記に相違無き旨明致します

年 月 日

現住所 [redacted]

現認者 所屬部隊 [illegible]九九二六部隊

官職氏名 [illegible]

印 [illegible]

19-12

1606

[redacted]

[redacted]

[redacted]

認定

住主 | 氏名 | 世帯主 | 続柄

22.5.24 光

[redacted]君と共に地を出発
致す時より同じ分隊で勤務致す
て居りましたが フイリッピンに上陸すると
から何しろ負戦さはて山へ逃げる
にいそがしくて 戦隊も時々あり
殺に同じ分隊 疲労致すが本は確
実ですが 生は同じ分隊に居り
[redacted]君はとても良働いてくれる人
です 死体は土をほって埋めはする
遺骨迄はアシも有りません

19-1.6

家族一同ニ於テ祈念ノ上遺骨ハ責任[redacted]上等兵ノ
[redacted]上等兵ハ[redacted]ニ於テ離ルヽ際ハ[redacted]共ニ行ハレテ[redacted]月二日北部呂宋「キャンガン」東方山中ニ於テ敵ニ到ル
際ハ[redacted]ニ対シ全ク御迷惑ヲ掛ケタルコトヲ深ク
謝罪シ遺骨ハ[redacted]ニ一報ヲ
表面宛名

十二月二十七日（昭和二十年）

遺骨捜索者住所氏名

[redacted]

[redacted]

昭和二十五年三月三十八日

[redacted]

1610

現認證明書

[redacted]

| 死亡者 | | |

戦死者確認（證明）書

一、死亡者所属部隊名（通稱）　歩第一六一聯隊　勤第一輸送隊

一、徴集年　不明　服役　予備　兵種　輜兵

一、官等（死亡時）　上等兵（死亡後）　陸軍兵長

一、氏名　[redacted]

一、死亡場所　キヤンガン東北山ノ中ニ北田部落　年　月　日生

一、死亡區分及ニ事由　戦死（ガ記載ナキ部隊ニ於テ中隊砲第二中隊ニ於テ岩間ニ於テ戦死ス）

一、死亡年月日時　昭和二十年八月二日（大隊報告ニ基ク後刻直撃ニ依リ死亡）

一、死亡者本籍地及最後住所　[redacted]

右確認（證明）ス

又

昭和二十年七月十日　元所属部隊　勤第一輸送隊

現住所

元官等級　陸軍兵長

氏名印

（注）死亡原因ハ場所ハナルベタワシタ結果後ノ死亡ハ明瞭ニ生死不明ニナツタ者ハソノ前後ワカツテシカ知ラヤドサイ

宛先

地方世話部認定係

現認證

所属 固有部隊名 [redacted]

[redacted]

本籍 [redacted]

留守現住所 [redacted]

但書 [redacted]

死亡年月日 昭和二十年[redacted]月[redacted]日

及死亡場所 昭和二十年[redacted]月[redacted]日

死亡ノ時ノ職 昭和二十年[redacted]月[redacted]日

階級進級 [redacted]

年月日 [redacted]

（未だ應召ヲ受ケザルモノハ其ノ旨記ス）

死亡ノ時ノ職業 [redacted]

遺骨遺留品ノ有無 ナシ

死亡区分 戦死 戦病死 事故死

死亡ノ原因 [redacted]

死亡前后ノ状況（本人並ニ所属部隊ノ死亡ヒヨリ明カナル状況ヲ記ス）

[redacted]

死亡ノ場所 [redacted]

死亡ノ理由 [redacted]

死亡ノ理由ニ関シ他人ヨリ聴ケル事実

[redacted]

所属部隊 [redacted]

現住所

官等氏名印 [redacted]

備考

利用ノ所ニ応ジ詳ニ記載セラルベシ

例ハバ昭和十九年十月二日甲ヲ不ナル度

甲指定ノ理由ニ関シ確度（例ハバ昭和十九年十月二日甲ヲ不ナル度

乙記憶ニ入ルモノ、為他人ヨリ聴クモノ、

1613

證明書

一 留守担当者 [redacted] 本籍地 [redacted] 妻

右は[redacted]第五一三一部隊（建築勤務第五十八中隊）に属し轉戰中昭和二十年一八月二日午前三時頃比島ルソン島バギオ北方マヨヤオ村落の戰闘に於て左下腹部盲貫砲彈破片創に依り戰死せるを現認し死体は埋葬したる事を證明する

昭和二十五年一二月四日

元建築勤務第五十八中隊所属

小隊長代理陸軍准尉 [redacted]

陸軍

(ガルーノ本社)

31-17

1614

現認證明

本籍地 [redacted]

所屬部隊 第十航空情報聯隊

氏名 [redacted]

一 役種、兵籍、年次 [redacted]

一 死亡年月日 昭和二十年八月三日 [redacted] 年 月 日生

一 同 場所 カガヤン州 ジョネス東方約二十粁

一 同 地 戰病死

一 死亡原因及ハ病名及現認年月日等 マラリヤ発病 [redacted] 八月三日午前十時頃病没 埋葬ス

一 遺骨の有無 ナシ

一 遺族、現住所、氏名 [redacted]

右相違無キヲ認明ス

昭和二十二年一月二十五日

現認者 所屬 第十航空情報聯隊

陸軍上等兵 [redacted]

73-1

1615

[illegible]

[illegible]

[illegible]

事實・死亡 證明書

本籍地 [redacted]

所屬部隊（通稱號） 第八十九飛行場大隊

昭和 九 年徵集 陸軍 伍長 [redacted]

右ノ者 自昭和二十年一月七日 至昭和二十年八月五日ノ間 ビスマルク諸島 ニューブリテン州 ニ於テ勤務シ昭和二十年八月三日 バギオ山中ニ於テ 栄養失調 ニヨリ櫻町北方山中 ニテ昭和二十年八月三日死シタルコトヲ證明ス

昭和二十一年 月

調製官 元 陸軍軍曹 [redacted]

189-11.

1617

現認證明書

本籍地 [redacted]

所屬部隊 固有名 戰車第二師團輜重隊
通稱號 第一三一〇七部隊

陸軍伍長 [redacted]

右ノ者昭和二一年八月三日八時二十分
比島北部北ルニンポー山ニ於テ[illegible]負傷三日午後脚ニヨリ戰病死シ
タルヲ現認ス

昭和二十年八月三日

所屬部隊 第一三一〇七部隊
官等級氏名 陸軍曹長 [redacted]
現住所 [redacted]

1618

戦歿者確認(證明)書

一、死歿者所屬部隊名(通稱號)　歩一〇五連隊

一、徴集年　十九年　役種　召集兵　兵種　輜重兵

一、官　等(死歿前)　二等兵　(死歿後)　二等兵

一、氏　名　[redacted]　年　月　日生

一、死歿場所　ビリピン、ルソン島北端パラナン港パラナン河口

一、死亡區分並ニ事由　パラナン河口ニ於テ敵ニ包囲ヲ受ケ[illegible]

一、死歿年月日時間　昭和二十年八月四日四時

一、死歿者本籍地留守擔當者　[redacted]

右確認(證明)ス

昭和三十二年三月十八日　元所屬部隊　歩一〇五連隊

現住所　[redacted]

元官等級　二等兵

氏名印　[redacted]

(註)　死亡事由、場所ハナルベククワシク特ニ終戰後ノ死亡ハ明細ニ、生死不明ニナツタ者ハソノ前後ヲクワシクオ知ラセ下サイ。

宛先　[redacted]

地方世話部認定係　[redacted]

24-11

1619

死亡者調査表

[redacted]

[redacted]

[redacted]

戦死證明書

一、戦死者本籍地 [redacted]

戸主名續柄 戸主 本人

氏名 [redacted]

二、所属 同右部隊名 通称部隊名 [redacted]

三、戦死者徴集年 「昭和十五年」 役種 「兵種」 「兵」 死亡前官等級 陸軍 [redacted] 任官年月日 昭和 年 月 日

四、戦死年月日時刻及場所 [redacted]

五、戦死現認ノ程度 [redacted]

六、遺骨臨還ノ有無 ナシ

七、戦死當時ノ狀況ノ概要 [redacted]

八、死亡區分 戦死 事由ヤ戦傷ヤ病 発病年月日 昭和 年 月 日

九、其ノ他 (上陸地ニ於ケル死亡者発病ニ依リ市立カ、村役場等ニ於テ埋葬スルカ、又ハ不明等記入 部隊等ニテ埋葬スルカ、埋葬場所カ、又ハ不明等記入) 申立済ナレバ上陸年月日及上陸地

一〇、遺族ノ現住所 [redacted]

戦死者トノ續柄 [redacted] 氏名 [redacted]

右ノ通リ戦死セラレタルコトヲ證明候也

昭和 年 月 日

證明者住所 [redacted]

戦死者トノ關係 [redacted]

所属部隊名 [redacted]

兵種 官等級 陸軍 [redacted]

氏名 [redacted] 印

市町村長證明箇所

右相違ナキ事ヲ證明ス

昭和十六年五月七日

[redacted]

附受 22.5.5. [redacted]

3570

1621

[redacted]

所屬部隊　第一五三飛行場大隊
連隊番號　或第九九二七部隊

後備役兵　補充兵　役

官等級氏名　陸軍一等兵　昭和　八月　日

[redacted]

右ノ者昭和二十年八月五日比島ネグロス島シライ山中ノ戰鬪ニ於テ聲部貫通銃創ニ依リ戰死

[redacted]

昭和二十一年十一月八日

現認者　第一五三飛行場大隊
[illegible]　登[illegible]中隊　[illegible]

陸軍一等兵

[redacted]

1622

1623

死亡者戸籍謄本

死亡者戸籍筆頭者名 [redacted]

死亡者戸籍本籍地 [redacted]

死亡者氏名 [redacted]

死亡者生年月日 [redacted]

死亡者職業 [redacted]

死亡者住所 [redacted]

死亡者職業 [redacted]

死亡者住所 [redacted]

死亡者職業 [redacted]

死亡者住所

戰死證明書

一、戰死者本籍地　[redacted]　戶主名續柄　戶主　父　氏名　[redacted]　年　[redacted]　月　日生

二、所屬 固有部隊名 通稱部隊號　比島派遣鉄第四四七部隊

三、戰死者徵集年「昭和[redacted]年」役種別「兵種歩ノ兵」死亡前官等級陸軍[redacted]任官年月日昭和九年十一月　日

四、戰死年月日時刻及場所　二十年八月頃　北アンゲポーロヨリ南アンゲポーロニ前進中

五、戰死現認ノ程度　[redacted]目撃ニ依ル

六、遺骨歸還ノ有無　無シ

七、戰死當時ノ狀況ノ概要　砲撃ニ依リ戰死[redacted]

八、死亡區分　戰死　事由　戰傷病名　發病年月日　昭和　年　月　日

九、其ノ他（上陸地ニ於テ死亡者屬ニ依リ申立カ、部隊陸路整理班、特部等ニテ整理スルカ、整理豫定カ、又ハ不明ヲ記入）　申立濟ナレバ上陸年月日及上陸地

十、遺族ノ現住所　[redacted]　戰死者トノ續柄　父　氏名　[redacted]

右ノ通リ戰死セラレタルコトヲ證明候也

昭和　年　月　日

證明者住所　[redacted]

戰死者トノ關係

所屬部隊名　[redacted]

兵種　歩兵　官等級　陸軍　[redacted]　氏名　[redacted]　印

市町村長證明箇所　右相違無之事ヲ認證ス　昭和三十三年五月[redacted]日　[redacted]

161-10

1625

戰歿者確認(證明)書

一、死歿者所屬部隊名(通稱號)
一、徴集年月日
一、官等(死歿前)
一、氏名
一、死歿場所
一、死亡區分並ニ事由
一、死歿年月日時間
一、死歿者本籍地留守擔當

[redacted]

右確認(證明)ス

昭和29年7月1日

元所屬部隊名
現住所
元官等職位兵長
氏名印

[redacted]

備考 死亡事由、場所ハナルベクシク特ニ終戰後ノ死亡ハ明細ニ生死不明ニナリタ者ニシテ前後クワシクオ知ラセ下サイ

宛先

[redacted]

地方世話部戰傷係

1626

No

戦死證明書

一、階級氏名　陸軍二等兵　[redacted]

一、戦死年月日　昭和二十年八月六日夕刻

一、戦死場所　沖縄県糸満西北約六七〇米南アンチポロ部落附近

一、戦死状況　南アンチポロ部落脱出時ノ戦斗ニ於テ頭部貫通銃創ノ為即死ス状況急ナリシモ遺体ハ収容シ得ズ

一、所属部隊名　北島派遣威第五七部隊　[redacted]隊

昭和二十一年十一月十七日

右確認セシ事ヲ證明申上候也

[redacted]

昭和　年　月　日

1627

戦時死亡者現認書

昭和三年一月

本籍地	[redacted]
所属部隊	国籍 第十六野戦輜重隊 通称名 淀(渡戸)第四二一部隊
兵役	役種 第一補充兵役 徴集年 昭和 参 年 輜重特務兵 死亡時階級 陸軍 陸軍兵長 死亡後階級 陸軍 陸軍伍長 氏名 [redacted]
死亡年月日	昭和二十年八月六日十三時二十分
死亡場所	フィリッピン群島ルソン島タエバビスカヤ州バガバック
死亡状況	疾病(負傷)年月日 昭和二十年七月十五日 疾病又ハ負傷部位 マラリア
現認者	本籍地 現住所 旧所属部隊 第十六野戦輜重隊 役職 陸軍衛生兵 陸軍衛生軍曹 准尉 氏名 [redacted]

16-70

1628

戰死證明書

一、戰死者本籍地　戸主名續柄　戸主　氏名　孫　[redacted]

二、所屬（固有部隊名 通稱部隊名）　北海道第二十三聯隊　派遣　旭　第一二七五部隊　[redacted]　年　月　日生

三、戰死者徵集年「昭十八年」「役種　現役」「兵種　歩兵」死亡前官等級陸軍等　住官進級年月日昭和九年九月十日

四、戰死年月日時刻及場所　昭和二十年八月六日　ルソン島北部　カバヤンニテ戰死

五、戰死現認ノ程度　死体確認現地ニテ埋葬

六、遺骨歸還ノ有無　ナシ

七、戰死當時ノ狀況ノ概要　夜中マラリヤニテ死亡

八、死亡區分　戰病死　事由　マラリヤ　發病年月日　昭和　年　月　日

九、其ノ他（上陸地ニ於テ死亡者長官ニ依リ申立ヲ部隊等ニテ整理スルカ、整理義務ナシ、又ハ不明等記入）　申立済ナレバ上陸年月日及上陸地

昭和二十年十二月二十日　名古屋港上陸

一〇、遺族ノ現住所　[redacted]　戰死者トノ續柄　父　氏名　[redacted]

右ノ通リ戰死セラレタルコトヲ證明候也

昭和二二年　二月一七日

證明者住所　[redacted]

戰死者トノ關係　父

所屬部隊名　旭一一七五部隊

兵種　歩兵　官等級　陸軍　[redacted]　氏名　[redacted]　印

市町村長證明箇所

1329

死亡者現認証明書

本籍地　[redacted]　郡　[redacted]　村　[redacted]　番地

現住所　[redacted]　郡　[redacted]　市　[redacted]　番地

所屬部隊名及其ノ官等並氏名　陸軍上等兵　[redacted]

一、死亡年月日　昭和十年八月八日

一、死亡場所　[redacted]

一、死亡事由　マラリヤ　大腸炎

（發病年月日及病名）昭和十年七月十五日頃

右ノ通リ戰病死シタル事ヲ現認ス

現認者　本籍地　[redacted]　縣　[redacted]

現住地　[redacted]

所屬部隊　[redacted]第一七六一五部隊

元職官氏名　[redacted]

記載上ノ注意　「死亡事由」個々具通第（信）劃ヲ受ケ戰死ス或ハ「マラリヤ」「ケブラス」

（記載例）＝右ノ通リ下ニ戰死、戰傷死、戰病死ヲ右事由ニ依リ該當要項ヲ記入スル

1630

死亡現認證明書

昭和　年　月　日調製

死亡者			
所屬部隊	固有名	第二野戰飛行場設定隊	
	通稱号	戒二四〇三部隊	
本籍地	[redacted]		
死亡者	階級	見習士官	
	氏名	[redacted]	
遺骨	有無	ナシ	
死亡場所		北島呂宋島 劍山（マニラ東方約四十粁）	甲
死亡年月日		昭和二〇年一月一四日頃	甲
死亡区分		戰死	
受傷箇所		腹部貫通銃創	
埋葬年月日		昭和　年　月　日	発見者
埋葬者	氏名		

現認事由

六月初旬以降中隊は他部隊と全く孤立し敵の重囲に陥り本人は第三小隊長たり八月に入るも殆んど連日敵の攻撃を受け各小隊毎に分散し密林中に遮蔽し居りしも八月七日第三小隊は敵の奇襲を受け腹部に貫通銃創を受け戰死すなお死体は附近の大樹（マンゴー）の根元に埋め標石をおく遺骨として指を持ち帰るもその後の敵襲により附近を焼き掃ひ哀矢す

記載上注意

一現認事由は死亡當時の情況を極り詳細に明記する
一階級は必ず死亡前のこと
一確度（甲は正確、乙は概ね正確、丙は疑はしいもの）を必ず記入する
一氏名の下には必ず捺印を求めること
一故人との関係は中隊長　分隊長　戰友等の別を記入のこと

證明者

所屬部隊	固有名	第二野戰飛行場設定隊
	通稱号	戒二四〇三
本籍地	[redacted]	
現住所	[redacted]	
階級及氏名		中尉　中隊長
氏名	[redacted]	印

63-12

1631

現認報告書

本籍地 [redacted]

現住所 右ニ同ジ

氏名 [redacted]

所属部隊 飛行第二十七戦隊

官等級 上等兵

一 徴集年種 昭和八年 現役 飛行兵

一 死亡年月日 昭和二〇年八月七日

一 死亡場所 ネグロス島 マンダラガメガツ〇金地

一 死亡区分 戦死

一 死亡事由及其名称 負傷ニ依リ腫部モウ潰銃創

現認者 マンダラガン山より北北西約四粁の通称小南盆地にて深夫と敵者に会いの南盆地がつ〇金地に移動の途中腫部の負傷銃創死亡 米軍戦死

13-12

1632

現認證明書

[redacted] 地方世話部

死亡者											
所属部隊	本籍地	徴集	役種	兵種	死亡階級 前級	死亡階級 後級	氏名	死亡年月日時	死亡場所	死亡原由	留守宅住所氏名
戦第一六八部隊（第十四方面軍直轄部隊）	[redacted]	昭和10	補	歩兵	兵長		[redacted]	昭和二十年八月七日 午前三時三分	北部ルソン	戦死	[redacted]

死亡当時の状況	死者と関係の明
昭和二十年八月七日リンガエンより進攻いきなりなる敵約一ヶ中隊歩兵十八名来襲 対抗し猛撃せるも寡勢にして急襲撃す 当時第十四師団（十六）歩兵第七十五聯隊に属し行動不明とあり	戦友の地出発以来の戦友

右現認證明致します

昭和二十二年 二月 十日

現認者	
本籍	[redacted]
現住所	生存者に同
所属部隊	戦第一六八部隊（第十四方面軍直轄部隊）
官等氏名	陸軍 [redacted]

大川納

1633

死亡者本籍地・留守扶養者続柄氏名 [redacted] 妻 [redacted]

死亡者所属部隊名（通称號） 一〇五師團砲兵隊

徴集年 昭八

官等（死亡前） 上等兵

氏名 [redacted]

徴集 補 兵種 野砲

発病場所

受傷 年月日

死亡場所 比島ルソン島ナガ病院

死亡區分並に事由 戰病死（マラリヤ兼脚気）

死亡年月日時間 昭和二十年八月七日

遺骨の有無並に送還の方法 なし

右現認ス

昭和二十二年九月三十日

資料提供者 元所属部隊 一〇五師團砲兵隊

現住所 [redacted]

元官等級 一等兵

（死亡者との關係） 戦友

氏名 [redacted]

（註）死亡事由・場所はなるべくくはしく所に現認・確認・聞知・推定の別及終戦後の死亡は明細に生死不明になつた者は其の前後をくはしくお知らせ下さい

宛先 [redacted] 厚生部第一世話課認定係

17-12

1634

死亡現認證明書

昭和　年　月　日調製

死者	所属部隊	固有名	[redacted]
		通称	[redacted]
	本籍地		[redacted]
	死亡前の階級	兵長	
	氏名	[redacted]	
	遺骨遺留品	安	
	死亡場所	[redacted]	
	死亡年月日	昭和二十年八月七日	時
	死亡区分	戦死	甲
	受傷箇所名	頭部	
	戦病年月日		

現認事由

[redacted]

記載

一、本証明書は三部作製する

一、階級は必ず死亡時を記載する

死亡区分戦死の時は受傷箇所を戦病死のときは病名、発病年月日を記載する

一、死亡場所、死亡区分、死亡年月日の確否正確な時は甲、概ね確実なるときは乙、疑はしきものは丙とその下に記載する

証明者

所属部隊	[redacted]
本籍地	[redacted]
現住所	右に同
階級氏名	長 [redacted]

氏名の下に必ず捺印する

戰死證明書

一、戰死者本籍地　戸主名續柄

二、所屬 固有部隊名 通稱部隊號　比島派遣 第二三四部隊

三、戰死者徵集年「昭和四年」「役種 補充兵 予備 後備 第一 第二 第三」「兵種 歩 騎 工 輜 砲 特 兵」死亡前官等級 陸軍伍長 任官年月日 昭和十六年十二月一日

四、戰死年月日時刻及場所　昭和二十年八月 日 ミンダナオ、ワロイニ、オロ付近

五、戰死現認ノ程度　分隊長トシテ出動セシモ一名ノ歸隊者ナシ

六、遺骨歸還ノ有無　ナシ

七、戰死當時ノ狀況ノ概要　昭和二十年八月十日ミンダナオ島ワロイニ、オロ敵陣行動中敵ノ爲分隊長トシテ出動ノ際敵ト交戦遂ニ全滅ス

八、死亡區分　戰死　事由　公傷　發病年月日　昭和　年　月　日

九、其ノ他（上陸地ニ於テ死亡者遺骨ニ依リ申立カ、部隊整理班、幹部等ニテ整理スルカ、整理確定カ、又ハ不明等記入）　申立済ナレバ上陸年月日及上陸地

一〇、遺族ノ現住所　戰死者トノ續柄　氏名

右ノ通リ戰死セラレタルコトヲ證明候也

昭和　年　月　日

證明者住所

戰死者トノ關係　同大隊

所屬部隊名　第二三四部隊

兵種 歩 騎 工 輜 砲 特 兵　官等級 陸軍伍長

氏名　印

市町村長證明箇所

右ノ通相違ナキ事ヲ認ム

5740

1636

| | | |

死亡年月日	昭和二十年一月二日午后七時	死亡場所	三重県名張郡[illegible]村大字[illegible]字[illegible]番地[illegible]（[illegible]）
死亡区分	戦死（戦傷死）		
死亡の原因	悪性マラリヤ病並栄養失調症ニ因リ帯状道路上ニテ病死		

右の通届出致しますから申告致します

昭和二十二年一月二十日

申告者	住所	本籍地	氏名
	入籍筆頭者	等級	
			印
	現住所	[redacted]	[redacted]
	（引揚者の住所）		
	現住所（市区町村に至る）		

備考

一、申告者は遺族その他の親族の[redacted]の[redacted]の[redacted]の[redacted]にして出生届死亡届出生届は[illegible]と行動を共にせし者（其後[illegible]病死せし）より申告のあるものや

二、調査ハ死亡者の身上関係一切を処理するものであるから慎重に

三、他人から聞いて承知した事項ハ其の旨末尾欄外に記入して下さい

24179

1638

戦闘詳報明細書

比島派遣部隊

陸軍航空通信科

陸軍軍曹

[redacted]

右者昭和二十年一月八日ニ時二十分頃比島ニテ地上ヲ以テ
ルソン島東南方ノ地点ニ於テ敵ノ攻撃ヲ受ケ敵ト戦ヒ
ノ為ニ戦死セリ候
右ノコトカミヘ報告致シ候也

現認証明者

[redacted]

現住所

陸軍軍曹

[redacted]

1639

[redacted]

[redacted]

昭和[illegible]年八月[illegible]日比島ルソン島ツイサベラ州イロネスレニ於テ盲腸炎ニ罹リタルモ病院ノ設備ナク看護ニヨリ[illegible]メタルモ遂ニ全月[illegible]日同地ニ於テ死亡セリ

[redacted]

現認者 部隊 御上退職巡査 [illegible] 官等氏名 [illegible]

本籍地 [redacted]

現住所 [redacted]

1640

死亡証明書

本籍地	[redacted]		
所属部隊固有名			遊撃隊
徴集年（任官年）	昭和十九年三月	役	福兵 補
死亡前官等級（開戦後年月日）	歩兵一等兵 昭九	氏名（生年月日）	[redacted]
留守担当者	第二国通信兵	所属	[redacted]
続柄	父	氏名	[redacted]
死亡年月日	二〇、八、八	死亡場所	比島パラオ島イロイロ市ミンボ山
死亡種分	戦病死		
傷病名	戦死	死亡年月日	二〇、八、八
死亡後階級の要否	要	遺骨	有
	遺留品	金銭、印鑑、所持中の家族宛手紙	

死亡状況

比島（パラオ島）イロイロ市ミンボ山に向け転進警備中米軍の猛襲射撃つもと有力なる敵戦車隊の戦法数千を交へ之に対抗し我に甚大なる犠牲を強いられたるも我に甚大なる犠牲を強いたるも我に甚大なる犠牲を強いたるも我に甚大なる犠牲を強い

戰歿者確認（證明）書

一、死歿者所屬部隊名（通稱名）[illegible]

一、徴集年月日　一〇　役種　[illegible]

一、官等（死歿前）　[illegible]　（死歿後）

一、氏名　[redacted]　年　月　日生

一、死歿場所　ブラカン州イポ地区附近

一、死亡區分並ニ事由　[illegible]

一、死歿年月日時間　昭和二〇年八月八日午前八時

一、死歿者本籍地留守增當者　[redacted]

右確認（證明）ス

昭和二十二年七月十八日

元所屬部隊名　[illegible]

現住所　[redacted]

元官等級　[illegible]

氏名印　[redacted]

註　死亡事由、場所ハナルベククワシク特ニ終戰後ノ死亡ハ明細ニ生死不明ニナッタ者ハソノ前後ヲクワシクオ知ラセ下サイ

宛先　[redacted]

1642

戰歿者確認（證明）書

一、死歿者所屬部隊名（通稱）　[redacted]

一、徴集年　[redacted]年　後留守家族　[redacted]

一、官等（死歿時）　[redacted]

一、氏名　[redacted]　年　月　日生

一、死歿場所　[redacted]

一、死亡區分及ビ事由　[redacted]

一、死歿年月日時間　昭和[redacted]年[redacted]月[redacted]日

一、死歿者本籍地留守宅住所

右確認（證明）ス

昭和[redacted]年[redacted]月[redacted]日

元所屬部隊名　[redacted]

現住所　[redacted]

元官等級　[redacted]

氏名　[redacted]　印

注　死亡ノ事由、場所ハナルベクワカリ得ル限リ詳細ニ生死不明ニナッタ者ハソノ前後ヲ知ラセ下サイ

地方世話部厚生係

公未

死亡者調査表

昭和二十三年 月 日

民生部第一世話課

課長 係長 係員

整理番号

所属部隊 固有名 南方第三陸病 (通称名 成一〇六三)

留守業務局 所管課 比島

徴兵年 昭 年

本籍 [redacted]

留守現住所 右同

[redacted]

[redacted]

[redacted]

戸籍謄本

所属部隊名 一三八兵站病院 戦闘第七一九六部隊

[illegible]年[illegible]月[illegible]日 現役 陸軍衛生兵 [illegible]年[illegible]月[illegible]日

[redacted]

死亡者名簿

氏名	死亡年月日	死亡場所	死亡原因
[redacted]	昭20.6.24	比島	戦病死
		比島	戦病死
		比島	戦病死

現認証

本籍地 [redacted]

部隊名 30 FC

官等氏名 軍屬 [redacted]

死亡年月日 20 8 9

死亡場所 ルソン島カランバ西方一粁

死亡区分 戦死 戦病死

死亡理由 栄養失調

右現認ス

本籍地 [redacted]

部隊名 飛行二〇〇戦隊

官等氏名 [redacted]

103-11

確認書　昭和二十一年　月　日

所属部隊名	死亡年月日	死亡場所及死亡区分	遺族ノ氏名及続柄	遺族ノ住所及現住所	遺骨ノ有無
独立兵第五一旅団 第一中隊 中支派遣第一三聯隊	20.3.1	ルソン島バカルバン高地 戦死戦病死	上等兵 木村米一	青森市大字[illegible]字[illegible]七十日五一 青森市[illegible]橋二二 妻 木村妙子	遺骨ナシ 遺留ナシ
入隊部隊ノ所属ノ兵隊ニ入隊 其後ノ所属部隊 不明	20.8.9	比島 ルソン島バンバンガ 戦死	上等兵		遺骨ナシ 遺留品ナシ

確認者　所属部隊　陸軍紙工部隊

現住所

向

○印欄ニハ記載シテ下サイ　尚確認資料欄ハ出来ル限リ詳細ニ記入シテ下サイ

協力ノ部隊　三月一日　一等兵

確認（例）昭和十九年七月満州ヨリ比島ヘ転進、バンカルバン附近ノ戦ニ中昭和二十年二月一日十前十時戦死ス（遺骨ハ未ダ）

戦況ニ敗宮ヲ昭和二十年五月一日午前五時十分戦死

資料　昭和二十年八月九日比島モンタルバン附近戦闘中昭和二十年八月九日十時三十分（月夏部隊）

経過　昭和二十年九月九日モンタルバン附近戦闘中昭和二十年八月九日十時三十分（月夏部隊）

備考　右確認ス

現認者　所属部隊　[redacted]

現住所　[redacted]

向　[redacted]

1648

死亡報告書

死亡者所屬部隊名

[illegible]年後備兵種

官等

死亡者

死亡年月日時間

昭和二〇年八月九日午前二時

死亡場所

死亡者本籍地及住所

死亡者職業

死亡病名

死亡事由

[illegible]

死亡報告書ニ記載シタル事項ニ相違ナキヲ認ム

昭和二一年三月七日

所屬部隊長陸軍[illegible]

[illegible]

1649

[redacted]地方世話部　戦時死亡者調書　[redacted]地方世話部復員調査課　[redacted]市役所

昭和三十年一月九日

区分	記
本籍地	[redacted]
所属部隊	満州十八部隊[redacted]隊旭三二
徴集年	豫備役 昭和十六年徴集
官等級氏名	陸軍曹
留守担当者住所氏名	[redacted]
年月日及区分	昭和二十年八月九日 戦死
場所	ルソン島カゴシント部落
傷(病)名	戦死
年月日時	
場所	
傷(病)名	
現認者官等級	[redacted]年十月二十日 上等兵

[redacted]

[redacted]

[redacted]

寫

戦死者遺族に対する通知書

所属部隊名	飛行第七十三戦隊 補充隊
本籍地	[redacted]
昭15 現	航空 曹
死亡年月日	昭20.8.10
死亡区分	戦病死
傷病名	マラリヤ
死亡場所	比島ルソン島 キガアンガン地区アンチポル
現住所	本籍地に同じ
父	[redacted]
昭20.7.5	
葬場所	ルソン島 サルナシ山中北才
父	同 上
入院年月日	
入院場所	

昭和二十年六月二日バレテ峠敵に占領され サンタフエ北方陣地又敵の爆撃となり山中をキアンガンに向け転進中七月五日マラリヤに罹病アンチポールに到着八月一日より妻第一二一〇一部隊に編入病身ながら分隊長として同地附近を警備せるも病勢日毎に悪化大腸炎を併発し遂に十日朝四時死亡せり

死亡者	20.5 飛行第七十三戦隊
	20.5 第一補充隊 臨時歩兵第二十五大隊に編入
	20.8.1 更第一三一〇一部隊に編入
戦歴	
戦況	不詳
現在所	[redacted]
所属部隊	飛行第七十三戦隊
現認者	[redacted]
死者との関係	階級 曹長 氏名 [redacted]
所見	現認者 [redacted] は死亡者 [redacted] とは昭和二十年五月上旬死亡迄同隊に居りたり、尚五月以前の履歴は兵籍不く資料不十分なり
調製上の注意	一、※印の箇所は当部にて記入す 二、履歴欄には入隊より戦死に至る迄詳細に記入すること 三、戦死当時の状況は特に明瞭なる事項を記入すること 四、一部調製とす 鉛筆にて可 五、本書送付先は [redacted] 地方世話部公報係とす

比島ルソン島イサベラ州カバツアン西北方八粁附近部落警備（村の名は「ハガ」）

死亡者認證明書

所屬部隊名	不明 歳ノ一五三二部隊
官等級氏名	陸軍兵長
本籍地	[redacted]
死亡年月日	昭和二十年八月十日頃（上旬）
死亡区分	戰病死
死亡場所	ルソン島南部山中 ラグナ湖附近ノ山
傷病名	マラリヤ
遺骨遺留ノ情況	不明
現認事由	ルソン島南部山中ニテ突然ノ面會ニ及ビ便宜ヲ與ヒ合フ明証
證明年月日	五日間ノ行程ノ後ヲ受ケ出発仕度ヲ終リ隊ニ[redacted]ノ部隊ニ移ネタ神奥ス 自前死亡セル証明書ニ[redacted]若ノ英霊ト室瀬ヲ新リ後日ヲ 右ノ通リ證明ス 昭和二十一年十二月十八日
所屬部隊名	特設第十一獨立機関砲隊
官等級氏名	陸軍上等兵 [redacted] 印
現住所	[redacted]

認證者

現認証

本籍地 [redacted]

部隊名 不明 [redacted]

官等氏名 陸軍伍長 [redacted]

死亡年月日 昭和[illegible]年[illegible]月[illegible]日 [redacted]

死亡場所 ルソン島アラミノス山地

死亡区分 戦傷死

死亡理由 栄養失調

右現認ス

本籍地 [redacted]

部隊名 不明

官等氏名 陸軍伍長 [redacted]

79-12

1654

現認證明書

戦死者本籍地 [redacted]

所属部隊 比島派遣戒一一六〇〇部隊

階級及氏名 陸軍兵長 [redacted]

留守宅住所氏名 本籍に同じ [redacted]

死亡日時 戦死

戦死年月日 昭和二十年八月十日

戦死場所 呂宋島バレテ峠附近

戦死状況

昭和二十年五月中旬戒一一六〇〇部隊(翼飛行場大隊)ハ解散シ中迫撃砲大隊ニ転属トナリ引続キバレテ峠附近ニ於テ活躍中昭和二十年八月十日斬込隊ニ編入サレ同日夜

4-12

半敵陣地斬込ノ際胸部及腹部ニ数弾ヲ受ケ壮烈ナル戦死ヲ遂ゲタル

右現認ス

昭和二十一年十一月二十日

現認者住所氏名

[redacted]

[redacted]

日東印(十二行)

4-13

現認（事實）證明書

本籍地 [redacted]

所屬部隊 固有名 歩兵第[illegible]聯隊 通稱名 [illegible]部隊

徴集年月日 昭和十九年 月 日生

官等級 陸軍二等兵

氏名 [redacted]

一、死亡年月日時分 昭和二十年八月十日 午前 時 詳分

二、死亡區分及傷病名 戰死（頭部貫通銃創）

三、死亡場所 ルソン島バギオ北方九粁

四、死亡狀況 大部隊ニテ交戰中敵彈ニ斃ル 頭部貫通死亡

五、遺骨及遺留品の有無並に處置（狀況）（指）骨持帰る

六、死亡に關する書類の有無 ニ

右の通り相違ない事を證明する

昭和二十二年 四月十七日 元所屬部隊（固有名）歩兵第[illegible]聯隊

（通稱名）虎八五部隊

現住所 [redacted]

舊職官等氏名 陸軍[illegible]長

一、死亡者本籍地

二、留守擔當者の住所職柄氏名

右の通り相違ないことを證明する

昭和 年 月 日

縣 郡 市 町 村 長

印

1591

写

戦時死亡者認定資料申告票

本人	所属部隊	固有名	第三十四中隊	通称号					部隊 部隊
	本籍地	[redacted]							
	徴集年	昭九	兵種	工兵	階級	歩兵	死亡前	伍長	死亡名
	死亡年月日	昭二〇、八、一〇							
	死亡区分	戦死							
	死亡場所	比島北部 呂宋マウンテン州マゴワット							
	傷病名	爆死							
留守担当者	現住所	[redacted]							
	続柄	妻	氏名	[redacted]					
認定資料	認定者 現住所	[redacted]							
	所属部隊	第二南拓勤務隊	職名氏名	第二南拓勤務隊長 [redacted]					
	右の如く確認せることを証明す								

123-1

[redacted]

現認證明書

一、死亡者所屬部隊名　第十四高射戦隊一六〇〇部隊

二、官等　陸軍一等兵

三、氏名　[redacted]

四、死亡区分　戦死

五、傷病名　砲弾破片創（銃撃）

六、死亡年月日　昭和二十年八月十日午前

七、昭和二十年八月十日バンコク南方十五粁の地点に於て砲弾破片創に依り戦死す

右證明す

昭和二十二年一月三十一日

現認者之職　一六〇〇部隊

元陸軍上等兵　[redacted]

陸軍

（東京・大蔵社製）

31-12

1659

戰歿者確認（證明）書

一、死歿者所屬部隊名（通稱）第十四方面軍野戰自動車廠

一、徴集年　昭和

一、官等（死歿前）　上等兵

一、氏名　[redacted]

一、死歿場所　比島ルソン島

一、死亡區分　戰死

一、死歿年月日時間　昭和二十年八月十日

一、死歿者本籍地（留守擔當者）　[redacted]

右確認（證明）ス

昭和　年　月　日　元所屬部隊名　第十四方面軍野戰自動車廠

現住所　[redacted]

元官等職　衛生兵長

氏名　[redacted]

註　死亡非由當所ヲナルベクタヨリシテ特ニ戰歿者ノ死亡ノ明細ニ生死不明ニナリタル者ハソノ前後ヲ

知ラセ下サイ

地方世話部獄恤係

調

公

死亡年月日

死亡場所

死亡原因

○陸軍軍人

頭部砲弾破片ノ為

（遺留品ナシ）

22.3.8.

世話部

1661

戦死者遺家族証明書

本籍地 [redacted]

現住所 [redacted]

所属部隊 [redacted]

徴集年 [redacted]

右の者昭和二〇年八月一〇日午前十一時（今時刻不明）[redacted]ニテ敵弾ニテ頭部ヲ貫通シ即死セリ依リ戦傷死セリと認ム

昭和二十二年 [redacted]

現認者 [redacted]

職 [redacted]

注意 [redacted]

戰歿者確認（證明）書

一、死歿者所屬部隊名（通稱號）第一八三〇部隊（第三十五軍司令部）

一、徴集年月日 昭和十七年[illegible]月[illegible]日 徴集地 神奈川 兵種 歩兵

一、階級（死歿前）一等兵（死歿後）

一、氏名 [redacted] 年 [redacted] 月 [redacted] 日生

一、死歿場所 比島アンガウオ島アンガウオトリンハ マライハ えイ東方五〇粁

一、死亡區分並ニ事由 マラリヤ 事務所 20.4.5 病死 山中

一、死歿年月日時間 昭和二十年八月十日 午前

一、死歿者本籍地留守擔當者 [redacted]

右確認（證明）ス

昭和二十二年[illegible]月[illegible]日

元所屬部隊名 第一八三〇部隊

現住所 [redacted]

元階級 伍長

氏名 [redacted] 印

註 死亡事由、場所ハナルベククワシク特ニ終戰後ノ死亡ハ明細ニ生死不明ニナツタ者ハソノ前後ヲクワシクオ知ラセ下サイ

宛先 [redacted]

[redacted] 厚生部 [redacted] 係

[redacted] 七 話課

1663

戦歿者確認（證明）書

一、死歿者所屬部隊名（通稱號）　歩第[illegible]聯隊

一、徴集年　[illegible]年　役種　補充兵　兵種

一、官等（死歿前）　[illegible]（死歿後）

一、氏名　[illegible]　年　月　日生

一、死歿場所　[illegible]

一、死亡區分並ニ事由　頭部貫通銃創ニ依リ戦死

一、死歿年月日時間　昭和[illegible]年[illegible]月[illegible]日

一、死歿者本籍地留守擔當者　[illegible]

右確認（證明）ス

昭和　年　月　日

元所屬部隊名　歩第[illegible]聯隊

現住所

元官等級　陸軍兵長

氏名　印

註　死亡事由、場所ハナルベククワシク特ニ戦闘後ノ死亡ハ別紙ニ生死不明ニナッタ者ハソノ前後ヲクワシクオ知ラセ下サイ

宛先　地方世話部殿係

死亡者遺骨明細

本籍	[redacted]
住所	同右
固有部隊名	第一五師團輜重隊
死亡前階級	陸軍一等兵
戒名	成一六〇九
俗名	[redacted]
生年月日	大正[redacted]年[redacted]月[redacted]日生
死亡年月日	昭和二十年[redacted]月[redacted]日
死亡場所	比島ルソン島[redacted]付近
死亡原因	戦死
遺骨の有無	無
遺骨の所在	[redacted]
遺骨の種類	骨
遺骨の数	一
遺骨の状況	[redacted]
備考	昭二〇、八、五同地[illegible]ホーヨ部落ニテマラリア熱ニテ戦病死セリ月日記憶ナシ
証明者	石篠[illegible]
証明年月日	昭和二十二年四月二十七日
証明者住所氏名	陸軍衛生伍長

死亡者確認（證明）書

一、死亡者所屬部隊名、但有名 独立混成第五十五旅團司令部
通稱號 威第一七六〇七部隊

一、徴集年 徴集ノ種別 兵種 昭和十四年徴集 豫備役 歩兵

一、死亡者氏名 [redacted]

一、官等級（死亡ノ年月日） （死亡前陸軍矢長 [redacted]年[redacted]月[redacted]日生 （[redacted]年[redacted]月[redacted]日 昭一九 ）死亡長陸軍

一、氏名 生年月日

一、死亡年月日時刻 死亡区分 昭和二十年八月 十日午後六時 〇分

一、死亡場所 ヒリッピン、スルー州ボロ島、シロマンル

一、死亡事由（戦傷病者ニ在リテハ傷病名及受傷年月日又疾病ニ在リテハ発病年月日及疾病経過） 腹部貫通銃創 即死

一、遺骨、遺留品ノ状況 遺骨ナシ、遺留品（時計）収容所ニテ米軍ト引上ラル

右確認（證明）ス

元所屬部隊名 独立混成第五十五旅團第二大隊第一中隊
現住所 威第一七六〇八部隊 [redacted]隊
元官等級氏名 陸軍一等兵 [redacted]
復員年月日上陸地 昭和二十年十二月二十五日 浦賀 上陸

死亡者ト関係 戦友

12-10

1666

昭和三十一年一月一日公示

[redacted]

地方世話部 死亡者調査票

昭和二十二年 月 日調査

留守業務部

所属部隊名	固有名	独立機関銃第二五大隊	通称名
本籍地			山九五七六六
徴集年	略	兵種	歩
階級	兵	官等級	上
死亡年月日時	昭20.8.10.2200	死亡場所	比島ルソン島マニラ東部イポー
死亡区分	戦死	傷病名	頭部貫通銃創
死亡前後	1ヶ月	氏名	
生年月日			
留守業者	妻	氏名	
現住所	内地籍地		
続柄			

調査資料及認定資料ノ入手経路	処理	官等級俸給	検印
遺骨（現地埋葬）遺留品無シ			
右の通り現認す			
独立機関銃第二五大隊第三中隊			
復員の曹			

名簿所見	記載ス	傷病ニ付キ消抹ス	消抹アリシ	停年名簿登	認定進級告知記録

91-10

1667

戰死證明書

二、戰死者本籍地　[redacted]　戶主名續柄　戶主

氏名　[redacted]　本人

三、所屬（國籍部隊名 連隊部隊名）　比島派遣第二十四師團第二十二旅團第三十四部隊

年　月　日生

四、戰死者徵集年「昭和　年」「役種補充兵」「兵種船舶兵」死亡前官等級陸軍上等兵　昭和　年　月　日

五、戰死年月日時刻及場所　昭和二十年八月十日午前十時ごろ　比島ミンダナオ島アリポンガ州ブロチー

六、戰死現認ノ程度　確度甲（現認）

七、遺骨證還ノ有無　ナシ

八、戰死當時ノ狀況ノ概要　昭和二十年八月末日部隊ブロチー輸送中ブロチー到着ニテ中比島上陸軍襲撃受ケ一時間戰鬪中「頭部重傷」終命ス　八月十日午前十時頃戰死ス

九、其ノ他（上陸地、於テ死亡者死骨ニ依リ申立タ、部隊長等整理表、幹部等ニテ整理スルカ、整理線定カ、又ハ不明等記入、）　申立書ナレバ上陸年月日及上陸地

十、死亡區分　戰死　事由　病名　昭和　年　月　日

右ノ通リ戰死セラレタルコトヲ證明候也

昭和二十年　月　日

證明者住所　[redacted]

戰死者トノ關係　部隊員

所屬部隊名　陸軍第二十四師團第二十二旅團第三十四部隊

官等級　陸軍上等兵

氏名　[redacted]

戰死者トノ續柄　妻

氏名　[redacted]

市町村長官廳印

右之通リ候也

[redacted]

121-19

8991

[redacted]

[redacted]

[redacted]

陸軍

現認（事實）証明書

本籍 [redacted]

部隊名 独歩五四五大隊 上等兵 [redacted]

一、死亡年月日 昭和二年八月 日（上旬）

一、死亡場所 比島カバヤン部落上山中

一、死亡ヲ分ツ 戦死

一、當時ノ狀況 約一ヶ分隊ニテ部隊ヨリ約二粁離レタル処ニ分哨ト
シテ堀立小屋ヲ作リ守備シ居リタル処敵ノ奇襲ニ合
ヒ全滅ス（外ノ兵隊ノ名ハ記憶セズ）

右之通証明ス

昭和二年一月三日

元独歩五四五大隊 陸軍上等兵 [redacted]

56-10

1670

死亡現認證明書

[redacted]

本籍地

所屬部隊　歳第一八二〇〇部隊

軍屬（月俸三五〇円）

[redacted]

右者歳第一八二〇〇部隊[redacted]主計少尉（消息不明）ニ直接部下トシテ戦闘任務ニ従事中昭和二十年八月十日比島ミンダナオ島ダバオ市南方約二〇〇粁山中ニ於テ敵ト交戦中胸部貫通銃創ニ依リ戦死セリ

右隊長[redacted]主計少尉ニ代リ現認ス

昭和二十一年十一月二十五日

現住所

所屬部隊　歳第一八二〇〇部隊

軍屬

[redacted]

死亡現認書

昭和　年　月　日

死亡者	本籍地 [redacted]
	現住所
	所属部隊名 南方軍第十六陸軍病院
	階級・氏名 陸軍衛生伍長 [redacted]
	死亡年月日時 昭和二十年十月十日午前三時 (現役 甲)
	死亡場所 フィリピン国ミンダナオ島コタバト (現役 甲)
	死亡区分 甲 死亡事由 傷病名 (発病年月日) 腹部銃創
	遺骨、遺留品の処置

右現認す

現認者 本籍地 [redacted]
現住所 右同

死亡者との関係 戦友

所属部隊 南方軍第十六陸軍病院

元職官氏名印 陸軍衛生軍曹 [redacted]

記載上の注意

1. 階級は甲(現役)、乙(旧の補充)、丙(他にしるもの)の区分で記入する
2. 死亡事由欄には何々貫通銃創、或は「マラリア」「チフス」等の病名を記入する
3. 死亡者との関係は中、小隊長、分隊長、戦友等記入する

中三第大三十第銃関機独立

[redacted]隊部二五六七一歳

昭16

歩 補

[redacted]

同上

文 [redacted]

戦死

昭和一十二年 四月十九日

[redacted]

[redacted]

[redacted]

報道料資きがえぢ

軍邦

兵種部隊	担任	地区	区分

| A資料提供者 | | B未帰還者資料 | | |

戦死證明書

一、戦死者住所 [redacted]

二、戦死者氏名 [redacted]

三、所属部隊名 [redacted]

四、戦死年月日 [redacted]

五、戦死現場ノ地名 [redacted]

六、遺骨埋葬ノ有無 [redacted]

七、戦死ノ原因 [redacted]

八、死亡ノ他ノ事情 [redacted]

九、遺族ノ現住所 [redacted]

氏名 [redacted]

右ノ通リ戦死セラレタルコトヲ證明候也

[redacted]

氏名 [redacted] 印

[redacted]

1675

戦死證明書

一、戦死者本籍地　戸主名続柄　戸主　氏名

二、所属（固有部隊名 連隊部隊名）比島派遣ミンダナオ島守備隊カヤン憲兵分隊（第　部隊）

三、戦死者徴兵年（昭和　年）「役種現役」「兵種憲兵」死亡前官等級陸軍憲兵伍長　昭和廿年六月廿日

四、戦死年月日時刻及場所　昭和二十年八月十日　比島ミンダナオ島カヤンアグサン

五、戦死現認ノ程度　本人戦友ヨリ聴取ス

六、遺骨・遺品ノ有無　遺骨遺品無シ　帰還見込ナシ

七、戦死當時ノ状況ノ概要

本人ハ昭和二十年八月十日同隊患者ヲ送致ノ帰途迫撃砲ノ直撃弾ニ戦死

八、死亡区分　戦死（確認者「同僚」兵隊　事由砲弾直撃　発病年月日　昭和　年　月　日）

九、其ノ他（上陸地ニ於テ死亡者量ニ依リ自立カ、部隊葬葬埋班埋葬等ニテ埋葬スルカ、又（不明等記入）申立済ナレバ上陸年月日及上陸地）

不明

一〇、遺族ノ現住所　戦死者トノ続柄　氏名

右ノ通リ戦死セラレタルコトヲ證明候也

昭和二十二年　月　日

證明者住所　戦死者トノ關係　所属部隊名　氏名

知人　兵第十四飛隊第三機関銃中隊　兵種階級　陸軍伍長

市町村長證明箇所

右相違ナキコトヲ證明ス

83-41

9191

現認證明書

[redacted] 地方世話部

死亡者						
所属部隊	北島派遣隊（奪）第一五三〇部隊	本籍地	[redacted]	徴集		
				種役		
				種兵	軍曹	死亡階級 前級 軍曹
						死亡階級 後級 伍長
氏名	[redacted]	死亡年月日時	昭和二十年八月十二日 午後 時頃 分	死亡場所	ヒリピン、ルソン島北部マラヤオ南方五〇キロ山中ゴサン	
留守宅住所氏名	[redacted]	死亡區分	戦死	死亡事由	栄養失調 マラリヤニ依ル	
				續柄	父	

死亡當時の狀況

昭和二〇年五月部隊ハ上陸後進撃ヲ来シ軍ノ指令ニヨリマッヤオニ集結ヲ命ゼラレタルモ軍ヲサケテ山岳中ニ入リオ高オ間隊員ハ遂ヒヤンダル山中ノ行軍ニ耐ヘ得ルカヲ失ヒ、落伍者続出シ遂ニ生ト共ニ[redacted]倉員モ前記ゴサンノ附近ニ部落ニテ部隊主力ニ追ヒ、当時[redacted]若ニ重症マラリヤニ苦シミ居リタルモ内地ヨリ自分ハ[redacted]倉員ハマラリヤ[redacted]ヲ来シ落伍セル日ヨリ五日目ニ家族加ハリ遂ニ死亡セリ

死者と關係の者

内地ヲ昭和十九年一月末一般軍司令部ノ命ニヨリ南方前線ニ赴任ノ途ニツキ第四航空軍司令部ノ蘭領ヨリ以後消息不明ニ付同行セル同期ノ軍曹アリ

右現認證明致します

昭和二十年[illegible]月[illegible]日

現認者		
本籍	[redacted]	
現住所	右ニ同シ	
所属部隊 官等氏名	北島派遣隊（奪）一五三〇部隊 陸軍 倉員	[redacted]

大川納

18-12

1677

死亡確認書

所属部隊	臨時歩兵第一中隊
職業	農
生年月日	昭和二九年四月四日
兵種	
役職	
階級等	二等兵
生前	
死後	( )
氏名	[redacted]
本籍地	[redacted]
留守担当者	妻
続柄	
氏名	
現住所	
死亡状況	年月日	昭20.8.12
確度	甲
区分	戦死
確度	甲
場所	ロンブロン島
事由	駆逐部隊員通信
傷病名	
確度	
遺骨・遺品	

右確認す

昭和二十二年二月十三日

旧所属部隊 臨時歩兵第一中隊

旧官等級位長

死亡者との関係 戦友

現住所 [redacted]

氏名 [redacted]

右原本に相違ないことを証明する

[redacted] 地方世話部長

9-13

1678

状況不明者の資料届

本籍地 [redacted]

上等兵

所属部隊固有名 第一ミ師団工兵隊

通称号 據一ミ六八ミ部隊

昭和二十年四月より開始せる硫黄島ミヤ才島作戦に傳令として参加中昭和二十年八月十三日ミヤ才島パンタに於て敵重迫撃砲の集中を受け直撃に依り全身被創十時十五分壮烈なる戦死を遂ぐ

遺骨取得不能 遺留品なし

據一ミ六八ミ部隊 主計少尉 [redacted]

37-10

1079

狀況不明者の資料

本籍地　[redacted]

一等兵

所属部隊　固有名　第一三〇〇輜重隊

通称號　駿第一二六〇七部隊

昭和十九年六月十九日「マニラ」上陸　昭和二十年六月頃迄隊[redacted]隊に編入

七月「バイランボン」附近より疎開せられ　ロツキード機に因る機銃掃射や爆

撃せらるる　此の戰斗間　如昭和二十年八月二日「キアンガン」附近の戰斗に於

て部隊貫通銃創にて戰死す

九月武裝解除　カリ　收容所にて　肺ヒと被服其の他持品全部燒却

せられ　遺留品なし

駿第一二六〇七部隊　九　一等兵

[redacted]

39-12

1680

23

確認書

本籍 [redacted]

[redacted]

所屬部隊 [redacted]

戦況概要

[redacted]

[redacted]

[redacted]

死亡者調査表

昭和二十年　月　日調製

[redacted]

[redacted]

[redacted]

事実（経過）説明書

[redacted]

[redacted]

[redacted]

戦死證明書

一、戦死者本籍地　戸主名續柄　戸主　氏名　[redacted]　長男

[redacted]　年　[redacted]　月　[redacted]　日生

二、所属　[redacted]　[redacted]　[redacted]

現認證明書

本籍地
現住所　同右
氏名

所属部隊　駿第一七六一部隊
官等級　陸軍兵長
徴集年月日　昭和十八年徴集　現役　歩兵
死亡年月日　昭和廿年八月十二日
死亡場所　マラッカ州カラバン
死亡区分　戦傷死
死亡事由及病名　殺病年月日
現認事項
右は第四中隊に属し「バナウエ」に進撃中敵の銃撃に依り大腿部盲貫銃創を受け療養中昭和廿年八月十二日マラッカ州カラバンにて死亡せしものなり
遺骨の有無　無
遺族住所及氏名
右相違無き事を証明する
現認者官等級氏名　陸軍兵長
所属部隊　駿第一七六一部隊
現住所

昭和二十一年十月二日

11-16

5891

死亡者現認證明書

本籍地 [redacted]
現住所 右
所屬部隊名 比島派遣第三十師團野砲第四十二聯隊
階級 氏名等 陸軍上等兵 [redacted]

一、死亡年月日 昭和二十年八月十二日午前八時頃
一、死亡場所 ミンダナオ島 ダバオ、ウロヤン
一、死亡事由 全身投下爆弾破片創により死亡す
一、発病年月日 昭和二十年八月十二日
及病名 全身投下爆弾破片創

右の通り戰死したる事を現認す

現認者
本籍地 [redacted]
現住所 右
所屬部隊名 比島派遣第三十師團野砲第四十二聯隊
官氏名職名 陸軍上等兵 [redacted]

(綴ノ一ニ続ク)

現認書

第十四特設野戰飛行場設定隊陸軍軍曹 [redacted]

右ハ昭和二十年八月十二日比島ルソン島山岳洲方ニレストハウス(山小屋)

ニ於テ戰死ス

右現認ス

昭和二十一年三月十五日

元第十四特設野戰飛行場設定隊

元陸軍上等兵 [redacted]

尚所属曹長進級ハ第十四方面軍副官部ヨリ命令アリタリ

14-12

現認（事實）證明書

本籍地
所屬部隊 固有名 工兵第三九聯隊 通稱名 一七六〇五聯隊
徴集年 [redacted] 兵種 工兵
官等級（昭和二十年二月一日發令）氏名 [redacted] 年 月 日生

一、死亡年月日時分 昭和二十年八月十三日午後二時二十分
二、死亡區分及傷病名 病死（栄養失調）
三、死亡場所 フィリピン ミンダナオ島 ブトゥアン
四、死亡狀況 死亡前四ヶ月位ハ食糧皆無ニテ木ノ実サツマイモ等ノミヲ常食トシ十日頃ヨリ精神異狀ニテ二日目ニテ死セリ 土葬ニテ同地ニ埋葬セリ
五、遺骨及遺留品の有無並に處置狀況 遺留品ハ財布ニ印鑑進駐軍ニ渡ス直ニ焼却セリ
六、死亡に關する書類の有無 書類ハナシ

右の通り相違ない事を證明する

昭和二十二年六月十四日 元所屬部隊（固有名）工兵第三九聯隊
（通稱名）一七六〇五聯隊

現住所
官職官等氏名 [redacted]

一、死亡者本籍地 [redacted]
二、留守擔當者の住所續柄氏名 [redacted]

右の通り相違ないことを證明する

昭和二十二年六月十八日

縣 [redacted] 印

84-12

1688

認證明書

一、部隊名　独歩五八六第四中隊　七二〇三部隊

一、死亡前階級及氏名　陸軍兵長　[redacted]

一、死亡年月日　昭和二十年八月十三日午前四時

一、傷病名　大腸炎

一、昭和二〇、八、一三、午前四時比嘉ルソン島トツカン地区ニ於テ

戰病死セルヲ確認ス

右證明ス

昭和三十二年　二月十日

現認者　[redacted]

元陸七二〇四部隊

元兵長　[redacted]

陸軍

現認證明書

[redacted] 地方世話部

死亡者	所属部隊	比島戦	第八一部隊							
	本籍地	[redacted]								
	徴集	昭10	役種	補	兵種	輜	死亡階級前級	軍長	死亡階級後級	
	氏名	[redacted]								
	死亡年月日時	昭和20年8月13日	時	分	死亡場所	北ルソンマラテン洲アブ山小屋				
	死亡区分	戦病死			死亡事由	マラリヤ				
	留守宅住所氏名	[redacted]			続柄	父				
死亡時の状況	昭和二十年八月頃より北部ルソンマラテン所沢の山中第三山小屋に於て食糧不足困難のため罹病マラリヤとなり、日最後の激戦に耐え十分なる手当も出来ずに再び前線に移動命令を受け八月十三日出発当日に絶命す。遺骨は部隊出発時第三山小屋に埋葬す。									
死亡者との関係	同僚人にして隣村の親戚友達									
現認者	本籍	[redacted]								
	現住所	仁右								
	所属部隊	比島派遣戦六八八								
	官等氏名	陸軍軍曹 [redacted]								

右現認證明致します

昭和20年2月5日

大川納

56-11

1690

連絡票

所属部隊
国籍名

[redacted]

徴集年月
後種
兵種

官等

氏名

生年月日

死亡場所

死亡区分
死亡事由

所属部隊
軍隊名

[redacted]

死亡年月日
留守担当者
現住所

時
徴募
氏名

[redacted]

戦傷
疾病
公務
一般

死亡者本籍地

[redacted]

右證明ス

昭和貳拾壹年四月拾八日

元所属部隊
現住所

[redacted]

陸軍上等兵

[redacted]

中尉
歳長
隊長

大尉
中尉

1691

事實（現認）證明書

所屬部隊　固有部隊名　歩兵第六十三聯隊
通稱號名　鐵五四四七部隊[redacted]隊

官等級氏名（死亡前）　陸軍一等兵[redacted]

本籍地　[redacted]

現住所　右ニ同ジ

右ノ者昭和二十年八月十三日八時ロ分
北部ボルネオ州カガヤン河右ブコ部落ニ於テ病死シタルコトヲ證明ス

昭和二十二年三月二十日

固有部隊名　歩兵第六十三聯隊
通稱號名　鐵五四四七部隊[redacted]隊
本籍地　[redacted]
職官等級氏名印　陸軍兵長[redacted]

17-130

1692

事実現認証明書

鐵五四七部隊は此部隊ベレー岬で昭和二〇・六・一四、轉進カガヤン河ピナパガンに向ひて前進中、

陸軍等兵 [redacted] 君は ブコ部落マラリヤ熱の爲に遂に昭和二十年八月十五日八時病死す 死体は軍医と共に埋葬す

当時自分は鐵五四七部隊部隊長 [redacted] 少将の当番兵をしており ブコ部落附近で部隊長病気の爲休養 其の護衛兵として [redacted] 君も残留せしも マラリヤの爲め病死す

右現認す

昭和二十一年十月十八日 (復員後 陸軍)

19-11

(注) 本証人陸軍[redacted]復員後[redacted]に報告せし為今日何等の利害関係なく 此の段確かに 現認證 致に相違ありません

1693

戰死證明書

一、戰死者本籍地　戸主名續柄

氏名

二、所屬（固有部隊名 通稱部隊號）　派遣　第一三〇部隊

年　月　日生

三、戰死者徵集年（昭和十四年）役種（兵役）役種（兵）死亡前官等級陸軍（海軍）任官年月日昭和　年　月　日

四、戰死年月日時刻及場所　昭和二十年八月　日　サゴント島

五、戰死現認ノ程度　現認セザルモ死亡セシ事ト思料ス

六、遺骨歸還ノ有無　ナシ

七、戰死當時ノ狀況ノ概要　昭和二十年八月八日ヨリ陣地ニ於テ発病心身共ニ弱ル所「ワロイ」ニ向ヒ転進開始サレ「ワロイ」中間地迂回サゴントニ向ヒ進ジヤンガルロニ於テ発病人事不省ニテ食ナク日前ニ敵迫ニ死亡セシ事ヲ認ム

八、死亡區分　病死　事由　熱帯性発病年月日　昭和　年　月　日

九、其ノ他（上陸地ニ於テ死亡者ニ依リ申立カ、部隊移動ノ理由幹部等ニテ整理スルカ、整理決定カ、又ハ不明等記入）　申立済ナレバ上陸年月日及上陸地

一〇、遺族ノ現住所

戰死者トノ續柄　養母

氏名

右ノ通リ戰死セラレタルコトヲ證明候也

昭和二十年　月　日

證明者住所

戰死者トノ關係　同居

所屬部隊名　第一三〇部隊

兵種　官等級　陸軍　伍長

氏名

印

市町村長證明箇所

右戸籍関係ニツイテ相違無キコトヲ證明ス

1694

死亡現認證明書

死亡者							
所屬部隊	第九一三九部隊	死亡年月日時	昭和二十年[illegible]				
本籍地	[redacted]	死亡区分	行方不明				
死亡前階級	陸軍上等兵	死亡場所	ビルマ[illegible]				
氏名	[redacted]	傷病名					

現認者

所屬部隊	本籍地	現住所	階級氏名
第九一三九部隊	[redacted]	同右	軍曹 [redacted]

右の通り證明する（昭和二十二年五月[illegible]日）

記載上の注意

一 階級は三部作成する場合は必ず死亡前を記載

一 死亡者の階級は必ず死亡前を記載

一 傷病名の欄には戦死の時は受傷箇所を記入する

一 戦病死の時は病名を記載し発病年月日

一 現認事由欄は詳細に記載する

一 證明書の現認者氏名の處に必ず捺印する

36-11

1695

現認證明書

[redacted] 地方世話部

死亡						
所属部隊	本籍地	徴兵	昭3	役種	神兵	
歩兵第三十七聯隊	[redacted]			兵種	歩兵	
				死亡階級 前級	等兵	
				死亡階級 後級		
				氏名	[redacted]	

死亡者				
死亡年月日時	死亡区分	死亡場所	留守宅住所氏名	続柄
昭和19年1月15日 時 分	戦病死	島[illegible]	[redacted]	[redacted]
	死亡事由	マラリヤ		

死亡当時の状況	死者と関係の続柄
セブ島に於て部隊主力に立て籠り奮戦中マラリヤに罹り戦病死した。	戦友

右現認證明致します

昭和五年四月十一日

現認者		
本籍	現住所	所属部隊 官等氏名
[redacted]	〃	歩兵第三十七聯隊 陸軍歩兵[illegible] [redacted]

[redacted]

1696

戰歿者確認（證明）書

一、死歿者所屬部隊名（通稱號）[illegible]部隊
一、徵集年 昭十八年 後備 補充兵（兵種）[illegible]
一、官等（死歿前）[illegible]（死歿後）
一、氏名 [illegible]
一、死歿場所 比島ミンダナオ島 サンボアンガ「ジブコ」
一、死亡區分並ニ亦由 [illegible]刺創ニテ戰死
一、死歿年月日時間 昭和二十年 月 十五日 時
一、死歿者本籍地並ニ住所 [illegible]

右確認（證明）ス

昭和三十八年 月 日 元所屬部隊名 [illegible]第一八六[illegible]部隊
現住所
元官等級
氏名 印

註、死亡亦由、場所ハオノヘタクワンタ特ニ終戰後ノ死亡ニ明和ニ生死不明ニナツタ者ハソノ前後ヲクワシクオ知ラセ下サイ、

宛先

地方世話部戰傷係

戰歿者確認(證明)書

一、死歿者所屬部隊名(通稱號)[illegible]第[illegible]部隊

一、徵集年 [illegible]年[illegible]月 兵種 [illegible]

一、官等(死歿後) [illegible]

一、氏名 [illegible] 生

一、死歿場所 [illegible]

一、死亡區分並ニ事由 戰[illegible]中[illegible]

一、死歿年月日時間 昭和[illegible]年[illegible]月[illegible]日

一、死歿者本籍地留守擔當者 [illegible]

右確認(證明)ス

昭和二十二年七月二日

元所屬部隊名 [illegible]第[illegible]部隊

現住所 [illegible]

元官等職 [illegible]

氏名印 [illegible]

註、死亡事由、場所ハナルベククワシク特ニ戦歿後ノ死亡ノ明細ニ生死不明ニナツタ者ハソノ前後ヲクワシクオ知ラセ下サイ

宛先 [illegible]係

2

1698

戦歿者確認(證明)書

一、死歿者所屬部隊名(通稱名)　[illegible]

二、徴兵年　[illegible]年　歿年　[illegible]年

三、官等(死歿前)　[illegible]

四、氏名　[illegible]

五、死歿場所　[illegible]

六、死亡原因　[illegible]

七、死歿年月日時間　昭和[illegible]年[illegible]月[illegible]日

八、死歿者本籍並留守担当者　[illegible]

右確認(證明)ス

昭和　年　月　日

元所屬部隊名　[illegible]

現住所　[illegible]

元官等級　[illegible]

氏名　印

註　死亡地不明、場所ハハッキリシタ時ニ限リ死亡ノ明瞭ニ出来ナイ者ハソノ前後ヲ[illegible]タフシタ方ヲ知ラセテ下サイ

宛先

[illegible]

地方世話部厚生係

1699

死亡現認證明書

死亡者	所屬部隊名	比島派遣第四一四部隊
	官等級氏名	陸軍 [redacted]
	本籍地	[redacted]
	死亡年月日	昭和二十年[illegible]月十五日
	死亡区分	戰傷死
	死亡場所	ルソン島タクラン付近
	傷病名	マラリヤ
	遺骨遺留品の状況	不明
現認者	現認事由	昭和二十年三月部隊解散ニ伴ヒ行動ヲ共ニシ[illegible]月[illegible]日マラリヤニテ死亡ス
	證明年月日	昭和二十五年二月二十日
現認者	所屬部隊名	第四一四部隊
	官等級氏名	陸軍上等兵 [redacted]
	現住所	[redacted]
記載上の注意		本證明書は三親等以内の親族、死亡者官等級は死亡当時の階級を記載し死亡区分の判明せざる時は「階級なし」記載する。現認事由は戦闘中に戦死、死亡区分は戰死、戰傷死、戰病死、不慮死、公病死、自殺、戰犯処刑死等がある

戰死證明書

一、戰死者本籍地　戶主名續柄　戶主　[redacted]　氏名　[redacted]　年　月　[redacted]日生

二、所屬固有部隊名 通稱部隊號　比島派遣　鉄　第五四四七　部隊　[redacted]　隊

三、戰死者徵集年 昭五年「役種補役」「兵種輜重兵」死亡前官等級陸軍上等兵 任官年月日 昭和　年　月　日

四、戰死年月日時刻及場所　昭和二十年八月十五日[redacted]、於呂宋島北部カガヤン流域「デコー」ピナパガンノ途中

五、戰死現認ノ程度　戰斗ノ落伍途中其ノ死体ヲ見タル者ナシ

六、遺骨歸還ノ有無　ナシ

七、戰死當時ノ狀況ノ概要　七月十三日[redacted]氏ハ元気ヲ出ス目的ヒナパガンヘ向ケ該地迄約十日間カカル自分ノ部隊長殿有作業部ノ行軍不可能ト認メ右本隊ト合ヒテ當分者地ニ止ママテ野菜スル事トナッタ其間之等不健ピナパガン到着狀況報告ヲ部隊長ニ居タリ。其ノ後今ノ者ノ話ニ右行軍間ニ[redacted]男モ整理ノタメ途中落伍シタトノ話ヲアイタ。其ノ話ハ六名弱ヲ居タイト。約一ヶ月位[redacted]

八、死亡當時　分類　死　事由　マラリヤ（疾病）　發病年月日　昭和　年　月　日

九、其ノ他（上陸地ニ於テ死亡者受害ニ依リ申立カ、部隊或ハ陸軍恤兵部等ニテ整理エルカ整理後定カ、又ハ不明等記入）申立ナレバ上陸年月日及上陸地

十、遺族ノ現住所　[redacted]　戰死者トノ續柄　妻　氏名　[redacted]

右ノ通リ戰死セラレタルコトヲ證明候也

昭和　年　月　日

證明者　住所　[redacted]　戰死者トノ關係　[redacted]　所屬部隊名　鉄五四四七部隊[redacted]隊　兵種輜重　官等級陸軍伍長　氏名　[redacted]　印

市町村長證明箇所

右ノ通リ相違ナキコトヲ證明ス

昭和二十年[redacted]月[redacted]日

長崎県代理

116-11

1071

写

現認（事實）証明書

本籍

部隊名　独歩第五大隊　上等兵

一、死亡年月日　昭和二年八月　日（中旬）

一、死亡場所　比島ルソン部落上山中

一、死亡区分　戦病死

一、當時ノ状況　全然食物ナク其ノ上雨期ノ事故、雨続キニテ、マラリアヲ起シ遂ニ栄養失調ノ為倒ル

右之通証明ス

昭和二年二月三十日

元独歩第五大隊　陸軍上等兵

陸軍

48-11

1702